

主要施策名:(3)循環型社会の形成

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(3)循環型社会の形成	(1)ごみ分別収集の推進	131-1	一般廃棄物適正処理事業	環境整備課
		(2)循環型社会システムの構築	132-2	ごみリサイクル・減量化事業	環境整備課
			132-4	し尿処理施設等管理運営事業	環境整備課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 廃棄物収集運搬委託業務	委託業者により家庭ごみの収集・運搬を行う。	収集運搬日数	日	250	252	253	248
② 不法投棄処理委託業務	委託業者6社により不法投棄物の巡回と回収を行う。	巡回日数	日	144	145	144	144
③ 不法投棄対策事業	不法投棄防止のため相談・巡回・看板設置等を行う。	看板設置数	本	17	27	66	20

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(市民)	67242	66850	66319	65817			
投入コスト合計(千円)	156,819	159,221	165,465	168,893				
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3				
コスト評価(対前年比)	***	97.92%	(↓)	95.46%	(↓)	97.23%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 不法投棄回収量	委託業者6社による不法投棄ごみの回収量	t	2	2	2	2
			2.35	3.32	2.26	
2 家庭ごみ収集運搬量	年間に収集運搬した家庭ごみの量	t	16750	17000	17000	17000
			17207	17005	17309	

\* 成果未達成時の理由 不法投棄ごみが回収されたことで、生活環境が改善されたといえる反面、減量化に結びついていないことでもあり、今後目標以下に抑えるようにしなければならない。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.24 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	不法投棄発生地への禁止看板設置のほか、市政たより、インターネットを通じ、啓発したが、ルール違反ごみ、不法投棄減少につながらなかった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は地区住民、収集事業者、保健所、警察とも連携し、リサイクルやごみ分別を周知し、ごみ減量につなげたい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	廃棄物処理実施計画に基づき、廃棄物収集業者等と連携し分別と減量化を啓発し指導を徹底するとともに、適正処理を行うことが重要である。また、不法投棄の巡回指導を行うことで発生の抑止に努めるとともに、土地管理者に対する適正管理の啓発を継続して行う必要がある。	評価責任者 <b>塚本 昭広</b>
----------------------	---	-----------------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称【1】	ごみリサイクル・減量化事業		所管課【2】	環境整備課	
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり			重点施策【4】
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成			
	施策区分	(2)循環型社会システムの構築			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠(複数回答可)【5】	■ 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】				
事業区分【6】	■ 法令、県・市条例等【 廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】				
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
会計区分【7】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業				
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 2 目 2 細目 2				

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動により、廃棄物は増加の一途をたどり、埋め立て最終処分場をはじめとする廃棄物処理施設の不足やごみ処理費の増加、不法投棄による環境破壊など様々な問題が生じている。このため従来の経済活動やライフスタイルを見直し循環型社会の実現を図ることが急務となっている。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物
意図(どのような状態にしたいか)【10】	廃棄物の3R(排出抑制・再利用・再生利用)など適正な処分を推進することにより、ごみの減量化や、環境への負荷が少ない循環型社会の実現を目指す。

## 《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容【14】	・ダイオキシン抑制など環境にやさしい指定ごみ袋や市民が利用しやすいごみ収集カレンダーを作成する。 ・ごみの減量化のため家庭用電気生ごみ処理機やコンポストの購入を推進するために、購入費に対し2分の1又は上限3万円の補助金を交付する。 ・ごみの分別等に関する電話相談・現場立合い・分別指導・啓発を行う。 ・区からのごみ集積場所の新設・移動・廃止などの申し出に対応する。
	【15】 事務事業を構成する細事業(7)本 ⇒ ① ごみ袋作製委託業務 ② 生ごみ処理機等購入費補助事業 ③ ごみ収集カレンダー等作成業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	61,789	66,922
		その他	0	0	0	0
		一般財源	60,217	62,677	1,766	1,512
	【16】 小計	60,217	62,677	63,555	68,434	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0		
	職人件費	職員人工数	0.44	0.44	0.44	0.44
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476
会計年度任用職員の人件費(千円)					0	
【17】 小計	2,607	2,594	2,409	2,409		
合計	62,824	65,271	65,964	70,843		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① ゴミ袋作製委託業務	ゴミ袋を委託により作成し、商工会議所等に販売を委託する。	ゴミ袋作成枚数	千枚	3298	3430	3474	3933
② 生ゴミ処理機等購入費補助事業	生ゴミ処理機やコンポストの購入等に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	33	23	39	60
③ ゴミ収集カレンダー等作成業務	ゴミ収集カレンダー等を委託により作成し各世帯に配布する。	ゴミ収集カレンダー作成部数	部	33100	33100	33100	33100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算
	対象( 市民 )	67242	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	62,824	65,271	65,964	70,843	
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1	
コスト評価(対前年比)	***	95.69%	( ↓ )	98.16%	( ↓ )

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 ゴミ資源化率	資源ゴミ収集量/ゴミの全体収集量	%	10	10	10	10
			7	6.4	3	
2						

\* 成果未達成時の理由 分母であるゴミ搬出量が増加し、割合が下がった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 93.67 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( ) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	人口減少にかかわらず、ゴミ処理量の増加傾向に変わりなく、減量化が進まなかった。生ゴミ処理機補助による減量化の周知が浸透せず、執行残が発生した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	有明広域行政事務組合と連携し、分かりやすいゴミカレンダー、分別表等によりゴミ減量化に努めていきたい。効果的な補助策により、ゴミ減量化を支援していきたい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	循環型社会を実現するために、ゴミ出しカレンダーや啓発チラシ等を配布することで、ゴミ分別意識の徹底を継続して行う必要がある。また、生ゴミ処理機等の購入費の一部を補助することでゴミの減量化を継続して推進する。	評価責任者 塚本 昭広
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 水の守運転管理業務	委託業者により水の守の運転管理を行う。	受入日数	日	295	294	295	295
② 公衆便所管理業務	委託業者により公衆便所の清掃管理を行う。	清掃回数(4カ所延べ回数)	回	520	520	520	520
③ 有明広域行政事務組合衛生費負担金業務	一般廃棄物処理業者・浄化槽清掃業者の許可を行う。	許可件数	件	4	0	4	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	
	対象( 市民 )	67242	66850	66319	65817
	投入コスト合計(千円)	156,892	158,857	143,824	162,313
	対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	2
コスト評価(対前年比)	***	98.19% (↓)	109.57% (↑)	87.94% (↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 し尿・浄化槽汚泥処理量	し尿・浄化槽汚泥の搬入量	m <sup>3</sup>	15700	15690	16225	16225
			15690	15839	15638	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
		・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	定期的な補修管理に努め、おおむね計画通りの管理を行えた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	専門業者のノウハウを生かし、異常発生時には早急に対応できる体制での管理維持に努めるとともに、入札方法等コスト削減策を模索していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		
総合判定	A		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	し尿及び浄化槽汚泥処理は地域の衛生・水環境を守るため今後も継続すべき事業であり、許可業者により搬入される水の守(し尿処理場)の委託により管理業務を行うとともに、市内に4カ所ある公衆トイレの維持管理を行う。	評価責任者 塚本 昭広
-------------------	--	----------------